

香港大学創立50周年記念式典に参列して

所 長 兼 子 勝

香港大学では 創立50周年記念行事として 本年9月11日から16日にわたって 次のような6部門に分かれての討論会が行なわれた。すなわち 内体感覚・植物化学・高層建築・東南アジアにおける土地利用ならびに鉱物資源・南支那 東南アジア 香港地域における歴史的 人類学的 言語学的 研究・極東における社会経済問題の各部門などについて 各国から多くの研究者が集まって討議が行なわれた。土地利用ならびに東南アジアにおける鉱物資源問題討論会については 鉱物資源と土地利用の両部門に分けられ 後者はさらに (a) 都市計画・農工業計画と (b) 米作問題に分けられている。

筆者は 鉱物資源問題の討論会に出席し 日本における水溶性メタンガス資源に関する研究成果を発表し 東南アジア各国においても この調査開発にのりだすべきことを指摘した論文を提出した。

鉱物資源問題については 主として香港付近に発見されている 鉄・タングステン・鉛・亜鉛・石墨・粘土の鉱床生成 岩石分布状態等が論ぜられた。この討論会は 香港大学教授 S. G. Davis 博士が編成し 座長には L. D. Stamp 博士が また司会には メルボルン大学教授 E. S. Hills 博士が当り 世界各国から多数の参加者を迎えて活発な討論が行なわれた。

また 室内討論が終わってから 鉱物班は CHA KWONG LING のカオリン鉱山

Needle Hill タングステン鉱山 MA ON SHAN 鉄鉱山の現地を見学し これまた 友好・成功裡に終了した。祝賀会は9月18日から21日にわたり 各国からの招待者60人を中心として 香港総督 副総長等による招宴によって行なわれた。

次に 香港大学のことについて簡単に紹介することとしよう。

1907年 時の総督 Frederick Lugard 卿が St. Stephens College において大学設立の意志を表明したのに始まり既存の医科大学拡張の議ともあわせ 支那要路との協力によって1911年3月30日 正式に大学として発足し Lugard 総督自ら初代総長となった。そして1912年には 当時 Sheffield 大学の副総長で後に日本の大使となった Sir. Charles Elliot を副総長として迎えた。

文学部は 英文・支那文学・歴史学・経済社会科学・地理地質・哲学・近代言語学・教育学の各学科に分かれ これらに入学するには 英本国の規準試験に合格したもののみが許される。



香 港 大 学 正 面 玄 関

そして3カ年勉学後 Bachelor of Arts となり Bachelor of Arts は遅くとも2年後には論文を提出し その上試験をうけて Master of Arts の称号が与えられる。

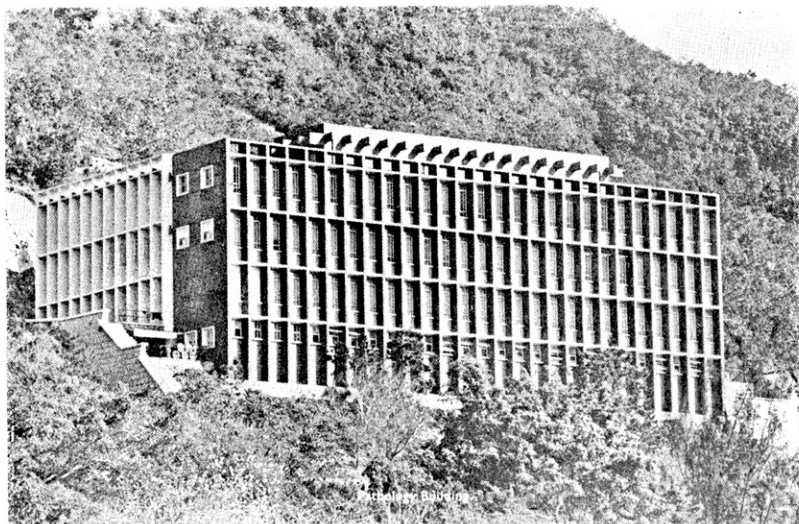
理学部は 数学・物理・化学・植物・動物の各学科に分かれ 3年間の過程後 B. Sc. の称号を得られる。

博士規定は制定せられてはいるが まだその実績をみるにいたっていない。

医学部は 5カ年間勉学後 Bachelor の称号を得るには英本国での訓練を要する。

工学部は3カ年の勉学コース後 Bachelor となるが 建築科は5カ年コースで Bachelor となる

一般図書館は 107,000冊のものを所蔵し Dewey decimal 分類により整理されており およそ 1,300 種の定期刊行物を蔵し また 別の Fung Shan 支那部門図書館には 115,000 冊以上の図書を所蔵している。なお 目下宏壯なる図書館の建設が終了し 上記両図書館より移転中である。なお 1961 年には当大学入学志望者は 4,000 人以上にも達し 今後はさらに大学の施設を拡充し 1965年には 2,000 人以上の入学者を迎え入れる計画である。



←
香港大学の
新設
図書館



Kow loon (九竜) 市
手前の露岩は香港花崗
岩の風化面 (白堊紀)





Kow loon から 香港 島 (香港 花崗岩) を 望む



岩壁に 高層 住宅 に 建てられた アパート



フェリー ボート で 香港 へ つく



Needle Hill の タングステン 鉱山 全景



馬鞍山の 鉄 鉱 旧 露 天 掘 取 地 区 現 在 は 坑 道 採 掘 を 行 な っ て い す